

結び

musubi

新春号

No.164

特集 最新機器導入で効率化！りんご選果のいま

謹賀新年



代表理事組合長
鹿内 克之



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員・利用者・地域住民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、JA青森の事業全般にわたり、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年中は、JA青森の事業全般にわたり、組合員・利用者・地域住民の方々に必要とされるJAを目指してまいります。

過ぎました令和6年は、長年にわたる新型コロナウイルス感染症が落ち着き、人々の生活や経済に活気が戻ってきた年となりました。一方で農業においては、世界情勢の変化や円安による資材・燃油価格の高騰、物流の輸送能力不足など厳しさを増していく中、異常気象が頻発し病害虫と併せ農業に与える影響は多大でした。

このような状況のなか水稻は、田植え後の低温や7月上旬の日照不足の影響があつたものの、作柄地帯別作況指数は「青森」「津軽」が「103」の「やや良」となりました。米穀の環境については、令和6年6月末の民間在庫量が156万トンと過去最低水準

となり、さらに南海トラフ地震警戒情報や台風災害等に備えた買い込みにより需給ひつ迫に拍車がかかり、令和6年産米の庭先価格は過去に類を見ない高値で推移したこから、JAの集荷数量は契約数量を大幅に下回りました。

りんごは、令和5年産に続き令和6年産も異常気象、花芽不足、高温障害による結果不足やヤケ、サビ果の被害が発生し大幅な収穫量の減少となりました。

野菜は、トマト・ピーマン・きゅうりが令和5年産同様に高温障害の影響を受け落花等により、厳しい作柄となり、単価が高かつたものの大大幅な収穫量の減少になりました。

J Aとして、肥料農薬の特別対策奨励金、乾燥機用灯油の引き対策、りんごの花粉確保対策、鳥害及び日焼け対策資材の購入助成等を行いました。

米穀については、JAに出荷いただいた組合員が納得する精算額確保に向けて、今後販売推進の強化を行い、追加概算金・追加精算払をするよう努めます。

当JAは、このような情勢の中、農業と地域の持続的発展を掲げた第6次中期計画の策定を迎えます。食と農を基軸とした組合員の皆様の豊かなくらしの実現と地域農業の振興に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

最後になりますが、組合員皆様のご健勝と、本年が豊穣の年になりますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



代表理事組合長

鹿内 克之

代表理事専務（総務担当）
田中 正輝

相坂 一成

代表理事常務（経済担当）
福士 幸樹

川村 忠則

佐々木 悟

豊川 明子

田中 裕子

木立 忠徳

倉本 義憲

齊藤 光朗

乳井 厳公

工藤 良行

菊地 清昭

津川あや子

雪田 徹

鎌田 鉄永

長野 英雄

八木 幸喜

石田 勝次

ほか職員一同

組合長の主な活動



JA青森県大会



浪岡地区りんご園地巡回



米の検査場所巡回

JA青森の2024年

春



蓬田支店・蟹田支店 大好評の苗祭り



職員も摘花！りんご花粉大作戦！

夏



お盆向け切り花の直売市



蟹田小学校 苗植え体験

秋



ラインメール青森FC公式戦 トマト詰め放題イベント



秋まつり初！大根の収穫体験&プレゼント

冬



あすなろ直売所毎年恒例 正月飾りの販売



JA青森女性部主催「親子 de 作ろう米粉クレープ」

最新機器導入で効率化! りんご選果のいま

令和5年にJA青森東部りんごセンターに新たに導入された選果機により、選果精度の向上と作業の効率化がはかられました。今回は最新設備の選果場を活用した収穫から選果の工程を取材しました。

※山選果とは…

りんごの収穫の際、手かごから箱に詰める選別作業のこと。

出荷者は山選果のみ

りんごの収穫最盛期を迎えた11月。浪岡地区の木村富裕さんの園地では、サンふじの収穫と山選果作業が行われていました。作付面積およそ二町八反歩の半分を占めるふじのほか、早生ふじや王林、トキ、つがる、世界一などの品種を栽培しています。手かごいっぱいに収穫されたサンふじをひとつずつ手にとり、キズの有無などを確認した後、大きさをチェックして箱に入れていきます。

「ツル割れやキズ、陥没が何箇所まで許容されるなどルールが決まっているので、出荷できるラインを見極めて仕分けます。JAに出荷する場合は、大きさや色が違つてもある程度同じ箱に入れられるため作業が楽です。市場だと、今同じ箱に入れた3つのりんごは全部別の箱に振り分けなければなりません」

と木村さん。産地市場への出荷では細やかな仕分け作業が求められます。一方、JAに出荷する場合、山選果の後は選果場に搬入するだけで等級仕分けや箱詰め、出荷までが一貫して行われるため、出荷者の作業負担が軽減されるのがメリット。

最新設備で進化した選果場

この時期、東部りんごセンターの敷地内にはりんごの品種名を表示した案内板が設置され、山選果を終えたりんごが次々に集まってきます。鮮度を保つため、選果を待つりんご箱も時間をあけず冷蔵庫に搬入されます。場内では令和5年に導入されたばかりの新しい



山選果作業が進む木村さんの園地



レーンにりんごを置くと箱詰めまでノンストップで自動選別



山選果を終えたりんご箱が選果場に集まる



収穫期を迎えたサンふじ

選果システムが稼働。旧来の選果機と比べ多くの工程が自動化されました。人の目でキズの有無を確認したりんごがレーンに乗せられると、カメラが高速で撮影を行い、色やキズの状態を判別して7等級、大きさごとに10階級に仕分けます。続いだ内蔵センサーによる糖度測定などを経て、箱詰めスタッフの手元までスムーズに流れていきます。箱詰めされたりんごは再びレーンを流れながら計量され、基準に満たないものは自動的に弾かれる仕組みです。さらに、パレットに積み上げる作業もロボットアームにより、作業負担が大幅に軽減されました。重量や箱の数をあらかじめ決めておけば自動で識別し、規定の数量まで積み上がつたらフォークリフトで冷蔵庫へ運び込みます。

J A 青森の福士幸樹常務は、「ロボットアームだけでも4人分の働きをします。箱を閉じたりシールを貼ったり、これまで人の手で行っていたいくつもの工程が自動化されたことで選果速度が向上し、作業効率がアップしました。写真判定の精度も向上したと感じています」と自信をのぞかせます。



カメラと品質センサーが一体となり高精度の判定が可能

丁寧に箱詰め



通過しながら重量計測。基準以下なら自動で弾かれる



ロボットアームが自動制御でパレットに積載



手作業だった蓋を閉じる工程なども自動化された



選果前も梱包後も鮮度維持のため冷蔵庫で待機

およそ700箱だった一日の生産数も、2,400箱(48トン)に増加しました。

未来のりんご生産を支える力に

箱詰めされたりんごは、冷蔵庫で鮮度を保ちながら全国各地への出荷を待

ちます。これから静岡まで配達するというトラックドライバーは、「青森のりんごはブランド力が高く、ライバル产地より高値で評価されている印象」と話します。

福士常務は、「気候変動などで全国の出荷量が減っていることが需要増加の一因。将来的に青森県以外ではりん

ごが生産されなくなる可能性もある」と指摘。日本一の生産量と知名度を誇る青森りんごの需要は増加傾向にあり、それにともなう価格の上昇は生産者の収益安定にもつながっています。また、海外への輸出においては、台湾、香港、ベトナムに加え、今年はインドへ早生ふじの出荷を果たしました。

新しい選果システムの導入で、品質を保ちながら、生産性の向上と出荷者の負担を軽減する体制が整いました。JA青森はこれからも、安定したりんご生産を維持できる環境づくりに取り組み続けます。



輸送トラックに積み込まれて出発を待つ

J A の窓口紹介

就農を考えている方、働き手を求めている農家さんはぜひ一度ご相談ください。

あおもり就農サポートセンター

農業移住・新規就農を希望する方や、すでに新規就農者として営農に当っている農業者の窓口となり、情報提供や巡回指導等を行います。

TEL 017-752-6445 (青森市大字平新田字池上11-14)

無料職業紹介所

農業労働力の確保が必要なJA組合員と求職者(働き手)のマッチングを手助けしています。

TEL 0172-62-4111(代)(JA青森浪岡支店内)

J A O M O R I

事業レポート REPORT



受賞おめでとうございます！

受賞者と宮下知事の懇談



表彰状授与



宮下知事と会のメンバー

母さんの焼き肉のたれを手にする宮下知事を



J A 青森母さんの焼き肉のたれの会は、青森県から表彰されました。この賞は起業、N P O活動、地域活動にチャレンジし、活躍する女性個人及び団体に贈られるものです。

●とき／2024年10月31日(木)

●場所／青森県庁

式には代表の倉内操さん、倉内真利子さん、倉内久美子さん、我満良子さんが出席し、宮下宗一郎青森県知事から表彰状が手渡されました。

同会は地域の高齢者の生きがい作りや見守り活動として交流サロン「たんぽぽの会」を開いており、簡単なクリエーションや苔玉作りを実施しています。交流サロンの活動経費を加工・販売の利益から還元しており、「地域共生社会の実現に向けた身近なホールモデル」と評価されました。



寄贈された非常用発電機設備



J A 青森鹿内組合長と J A 共済連青森県本部の沼田本部長

J A 共済連より非常用発電機が寄贈されました。自然災害等による停電時にJ A施設を電力供給の拠点として活用することを目的としており、J A 青森には計4台が提供されました。



JA共済連から非常用発電機の寄贈

●とき／2024年12月4日(水)

●場所／JA青森本店



19日のワークショップ



5日の研修会

外ヶ浜町蟹田地区における農林水産業の振興及び地域コミュニティ機能の維持・創出のため、「あおもり型農村R M O」育成事業にかかる研修会及びワークショップが行われました。



あおもり型農村R M O育成事業

●とき／2024年12月5日(木)

●場所／おぐにふるさと体験館



浪岡野沢小学校2年生 選果場見学

●とき／2024年10月30日(水)
●場所／野沢りんごセンター

J.A.青森は青森市立浪岡野沢小学校2年生6名の施設見学を受け入れました。児童は予冷庫やりんごの荷受け作業を見学した後に同センター担当職員へ積極的に質問し、施設やりんごに対する知識を深めました。



J.A.青森女性部戸門地区 第33回農産物品評会

●とき／2024年11月3日(日)
●場所／青森市中央市民センター戸門分館

青森市戸門地区にて第33回農産物品評会が開催され、来場客と関係者の合計40人が集まりました。約10品目が出品され、品評会終了後には、出品した野菜や焼きそばなどが販売されました。



品評会の様子



青森中央短期大学附属 第一幼稚園りんご収穫

●とき／2024年11月15日(金)
●場所／青森観光りんご園まるせん川村

青森中央短期大学附属第一幼稚園の園児35名はJ.A.青森の川村忠則理事が経営するりんご園で収穫体験を行いました。収穫したりんごは4月から11月まで園児が世話をしたりんごです。



農業用廃プラスチック 回収 SDGs貢献へ

●とき／2024年11月28日(木)
●場所／J.A.青森各地区営農センター

J.A.青森の営農センターで農業用廃プラスチックの回収を行いました。適正に処理することで、不法投棄の大規模な削減と地域の環境保全につながる取り組みとして、毎年11月ごろに実施しています。



廃プラスチックをJ.A.青森施設へ持ち込む組合員



丹精込めて育て上げた りんごの即売会

●とき／2024年11月30日(土)・
12月1日(日)
●場所／J.A.青森羽白野菜集出荷施設

J.A.青森りんご部りんご販売課は、りんごの即売会を開催しました。青森市浪岡産のサンふじなどを、贈答用、家庭用で販売。両日とも多くのお客様が来場し、りんごを買い求めていました。



J.A.青森女性部主催 親子で作ろう米粉の クレープ

●とき／2024年12月7日(土)
●場所／アピオ青森 調理実習室

青森農協女性部は地域住民との交流を深め女性部活動を知つてもらう目的で「親子で作ろう米粉のクレープ作り」を開催しました。カンパニーニュの金澤さんを講師として招き、楽しく米粉クレープを作ることができました。



講師の金澤さんに教えてもらいう親子参加者



浪岡営農センター 年末セール

●とき／2024年12月13日(金)
●場所／J.A.青森浪岡営農センター

2024年最後の売り出しとなつた年末セールには、約200人が来場しました。目玉商品のナガイモとゴボウ、各種珍味の販売のほか、南地域女性部の加工品販売ブースも設けられ、たくさんの来場客で賑わいました。



正月飾り販売

●とき／2024年12月16日(月)
●場所／あすなろ直売センター

毎年恒例となつてある正月飾りの販売が行われ、赤い実のセンリヨウと青々とした松が店頭に並びました。色鮮やかな縁起物を目にした買い物客たちが正月準備のために次々と手に取っていました。



店頭に並んだ正月の縁起植物

青森市ふれあい農園

職員・管理人募集要項

農園職員募集要項 募集人員1名

勤務時間／8:30～17:00(昼休憩1時間)

月 給／144,000円

有給休暇／初年度10日有

業務内容／青森市ふれあい農園内の管理

加工体験指導、事務、電話対応

農園管理人募集要項 募集人員2名

勤務時間／8:30～16:30(昼休憩1時間)

日 給／7,200円～8,400円

有給休暇／初年度10日有

業務内容／青森市ふれあい農園内の管理

農園の利用者への簡易な栽培指導等

必要要項／農業経験あれば尚可

担当：沼田、佐藤、小山

TEL017-761-3082

△調べて適切に処分！

低濃度PCB廃棄物

調査をお願いいたします。

事業所や倉庫などでPCBを使用したコンデンサー等が設置・保管されていないか点検し、発見した場合は、青森市廃棄物対策課(017-718-1086)にすぐご連絡ください。

◆低濃度PCBを使用した機器の判別方法

電気機器の銘板情報等から製造年や型式を確認し、メーカーに問い合わせるか、採油可能な機器はPCB濃度を測定してください。

PCBを使用した機器を処分期限までに処分しない場合、難り渡し又は譲り受けた場合

3年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金、またはその両方が科せられる場合があります。

低濃度PCBを使用した機器の例

低圧コンデンサー（平成2年以前製造のもの）



工作機械や揚水ポンプ、業務用冷凍・冷蔵庫、業務用エアコン、農業用乾燥機・精米機、漁業用巻き上げウインチなどのモーターで稼働する電気機器の効率を改善する目的で壁面や配電盤などに取り付けられています。

高圧コンデンサー
(平成2年以前製造のもの) (平成5年以前製造のもの)



変圧器
キューピクルや
電気室・機械室
などに設置されています。

低濃度PCB廃棄物の処分期限
令和9年(2027年)3月31日まで
処分先：環境大臣認定の無害化処理認定業者等



環境省HP

連絡先：青森市廃棄物対策課 (017-718-1086)

償却資産(固定資産税)の申告をお忘れなく

- 償却資産とは、個人や法人が、事業のために所有している機械・器具・備品などの資産のことです。
 - 市内で事業をされている方は、毎年1月1日現在で所有する償却資産の申告が必要です（地方税法第383条）。
 - 申告した償却資産の課税標準額の合計が150万円未満の場合は、課税されません。
 - 申告期間は毎年1月1日から31日まで、提出先は資産税課です（郵送可）。
- 浪岡事務所 納税支援課でも受け付けています。
- 償却資産（市税）は、確定申告（国税）とは別に申告が必要です。
- 該当する資産をお持ちでない場合も『該当資産なし』の申告をしていただくことになります。

主な農業用償却資産で申告が必要なもの

- ・家屋として課税されていないビニールハウス・畜舎・サイロ等の建物や構築物
- ・農業用ドローン、草刈り機、噴霧器、手押しの田植機や耕運機などの機器類
- ・ナンバーを取得していない自動車、軽自動車
- ・ナンバーを取得しているトラクター・コンバイン・田植機等の乗用の農耕作業用自動車で
最高速度が35km/h以上の車両（大型特殊自動車）など

主な農業用償却資産で申告が不要なもの

- ・家屋として課税されている倉庫等
- ・生物（牛馬、果樹等）、棚卸資産（商品等）
- ・ナンバーを取得している自動車、軽自動車
- ・ナンバーを取得しているトラクター・コンバイン・田植機等の乗用の農耕作業用自動車で
最高速度が35km/h未満の車両（小型特殊自動車）など

◇農耕作業用自動車の区分

区分	大型特殊自動車	小型特殊自動車
登録	9から始まる緑色のナンバープレート	緑色のナンバープレート
速度	最高速度が35km/h以上	最高速度が35km/h未満
税目	固定資産税（償却資産）	軽自動車税（種別割）

お問い合わせ先

青森市 税務部 資産税課
管理調整・償却資産チーム
直通：017-734-5204

K o n g e t s u n o r e s h i p i

カブとホタテのポタージュ

2~3人分●エネルギー 324kcal ●塩分3.6g ●調理時間25分

調理のポイント

- カブは薄めに切り、火を通りやすくする時短になります。
- なめらかになるまでミキサー（ブレンダー）にかけることで、口あたりがよくなります。
- ベビーホタテに塩味があるので、味見をして足りなかつたら塩で味をととのえてください。

味付けを味噌にすると味わい深くなります。また、牛乳を豆乳で代用してもよいですし、ホタテを他の具に変えてアレンジしても！ 寒い冬に温まるレシピです。

食物栄養学科2年
小泉 永恵さん、片山 麻衣子さん



材料 (2~3人分)

カブ	200g	コンソメ	5g (小さじ2弱)
玉ねぎ	50g (約1/4個)	牛乳	200ml (カップ1)
バター (A)	8g (小さじ2)	塩	0.5g (少々)
水	200ml (カップ1)	ベビーホタテ	60g (4~6個)

バター (B) 4g (小さじ1)

作り方

- カブはよく洗い、皮付きのまま火が通りやすい大きさに切り、玉ねぎは薄切りにする。
- 鍋にバター (B) を入れベビーホタテを炒め、取り出してください。
- 同じ鍋にバター (A) を足し、弱火で透き通るまで玉ねぎを炒める。
- ③に水、コンソメ、カブを加え中火でカブに火が通るまで煮る。
- なめらかになるまでミキサー（ブレンダー）にかける。
- 鍋に戻し、牛乳を入れ弱火で温め、塩で味を整える。
- カブの葉を茹でてみじん切りにしてください。
- 器に盛り付け、ベビーホタテを浮かべ、ゆでたカブの葉（あれば）を散らす。

K o n g e t s u n o r e s h i p i

リンゴとイチゴのガトーインビジブル

1本分●エネルギー 803kcal ●塩分0.4g ●調理時間：焼き時間を入れて 60分

調理のポイント

- リンゴとイチゴを並べてから生地を入れると、きれいな層ができます！
- イチゴの食感を残すために、角切りに切るのがおすすめ！
- 生地を入れてから、空気を抜くために軽くトントンと型を台に打ちつけるといいですよ。

混ぜて焼くだけなので、とても簡単にできます。
リンゴだけでもおいしくできます！

食物栄養学科1年
三上莉愛さん、櫛田かんなさん



材料

※18cmくらいのパウンドケーキ型1本分

卵	2個	イチゴ	160g
グラニュー糖	30g	リンゴ	120g
薄力粉	60g	無塩バター	40g
牛乳	60g		

作り方

- オーブンを180°Cに予熱し、型の内側にクッキングシートを敷いておく。
- リンゴは皮をむいて芯を取り除き、薄切りにする。いちごはヘタをとって1cm位に切る。（写真①）
- ボウルに卵、グラニュー糖を入れ、泡立て器で混ぜ合わせる。
- 薄力粉をふるい入れて混ぜ、粉っぽさがなくなったら牛乳を入れて混ぜ合わせる。
- 無塩バターを電子レンジで溶かして入れ、混ぜ合わせる。
- 型にリンゴを並べて入れ、その上にイチゴを入れ、⑤の生地を流し入れる。（写真②）
- 180°Cのオーブンで火が通るまで（40分）焼く。
- オーブンから出したら型に入れたまま粗熱をとり、冷蔵庫で冷やし、切り分ける。



青森市奥内地区産ながいも出荷開始

JA 青森羽白野菜集出荷施設では、11月25日より秋掘りながいもの選果がスタートしました。

土のついた状態で搬入されたながいもを作業員が1本ずつ水洗いし、さらに野菜洗浄機を使い細かな部分まで丁寧に土を落とすと、ながいも本来の白い肌が現れます。その後、重さや数を揃えて、等階級ごとに箱に慎重に並べます。初日の作業では、作業員6名と選果場担当職員1名の計7名で106箱(1箱10キロ)の箱詰めが完了しました。

選果場担当職員は、「JA 青森管内では特定の地域でしか栽培されていないうえ、生産者数は年々減少傾向にある。しかし今年は



ながいもを水洗いする作業員

箱に詰める様子

JA青森 羽白野菜集出荷施設
青森市羽白字富田195-1



肌が白く、立派に育ったながいも

ながいもの作付面積を増やした生産者もいるため出荷量に期待したい」と話しています。

令和6年産のながいもの生育状況は、例年に比べて太さはないものの長さは十分に確保されており、4Lサイズが最も多く、A品率は約6割を占めました。ここで箱詰めされたながいもは、主に関東圏へと出荷されます。

夏・秋はトマト、冬・春はながいもを選果し、市場へ出荷する施設。(共選)
そのほか、ミニトマトやネギ、ピーマンなどの野菜を生産している組合員が自ら選果と梱包を行い、出荷準備が整った状態で運び込まれる。(個選)



理事会 だより 定例理事会

日時：令和6年10月30日(水) 午後1時30分
場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階大会議室

●提出議案

- 議案第1号 令和6年産中生種仮渡金について
- 議案第2号 固定資産の取得について
(営農経済本部屋根改修)



定例理事会

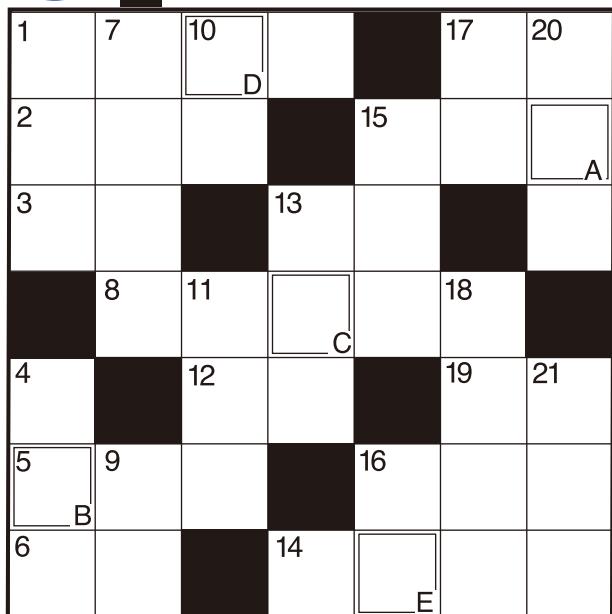
日時：令和6年11月28日(木) 午後1時30分
場所：青森農業協同組合 営農経済本部2階大会議室

●提出議案

- 議案第1号 令和6年産りんご晩生種仮渡金について
- 議案第2号 役員賠償責任保険の継続加入について
- 議案第3号 職員給与規程の一部変更について
- 議案第4号 出資金口数減少の承認について
- 議案第5号 理事との取引について

JA青森の概要

- 正組合員数／6,704名
- 准組合員数／6,159名
- 出資金／2,081,626,000円
- 役員数／22名
- 職員数／176名



→ ヨコのカギ

- 1 宝船の絵を枕の下に入れておくといものが見られるとか
- 2 窓を開けて取り込みます
- 3 カード式のホテルもあります
- 5 中東の国ひとつ。首都はテヘラン
- 6 きねと臼でつくもの
- 8 「本の虫」と呼ばれることも
- 12 七草を入れて炊くことも
- 13 初詣で一年の——を祈った
- 14 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- 15 マスカラを付けるところ
- 16 脊椎動物にはあります
- 17 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 19 耳が冷えないようにイヤー——をつけた

↓ タテのカギ

- 1 年賀状をコレからSNSに切り替える人も増えました
- 4 サトイモの親芋のまわりにできます
- 7 コートなどに用いる毛織物
- 9 ここで話していても——が開かないから見に行こう
- 10 しんしんと降り積もるもの
- 11 箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- 13 さんずい、うかんむりなど
- 15 ほうきに乗って飛べるとか
- 16 10を3回かけ合わせると
- 17 縁起をかついで食べる受験生もいます
- 18 おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- 20 チャールズ・チャップリンは——の王様です
- 21 可燃ではありません

クロスワードパズルの応募方法

新春特別号のプレゼント

株式会社マキュレ
「りんごだけで作った
りんご茶35g(7g×5袋)・
林檎けんぴ30gセット」

※当選発表は3月号

6名様

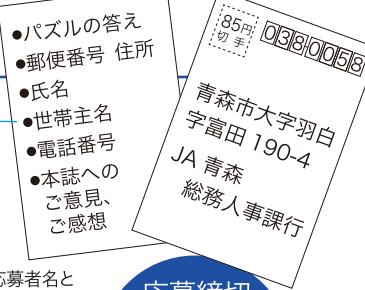


頂いた個人情報は「読者の声」「当選者の商品発送」のみ使用させていただきます。
ハガキ又はFAX.017-788-0281でご応募ください。

※応募者名と
世帯主名が
違う場合に
お書きください。

応募締切

2/7



11月号の答え

Aホ Bシ Cガ Dキ

11月号当選者

伊藤 とき子さん、鎌田 富三さん
秋元 美子さん、館山 優子さん

11月号の
景品 「令和6年産新米
はれわたり2kg」

JA青森読者のひろば 読者の声

たくさんの投稿ありがとうございます! 皆様の声、どんどんお聞かせください!

「女子○ツアー」あったんですね、素敵です!!
産地見学や収穫体験などなかなか出来ません。
農家の苦労が理解できるかと思います。
来年も実現してほしいです。行きま~す。
(今別町 P.N. みいばあちゃん)



10月に自転車で蟹田までサイクリングにいった時、
途中バイパス脇にビニールハウスがいっぱいあった。
トマトを作っていると思った。

(青森市 小山内 俊一さん)

事業レポートの内容を見るといろいろな事業を企画して
多方面に力を入れているのがよくわかりました。
(青森市 遠藤 輝子さん)

J.A.青森と青森中央短期大とのコラボレシピをいつも楽しみに
しています。アップルシンジャージャムはすぐ作れそうです。
飲むだけでなくおかずにも使えるのはステキ!
(平内町 金津 将太さん)

「読者の声」大募集!

広報誌JA青森を読んでの感想、日頃感じていること、農業への熱い思いなどを、
右記「広報誌JA青森」編集部宛てまでお送りください。

※皆様からいただいた「読者の声」は、広報誌に掲載させていただく可能性があります。お送りいた
だく方は、応募者氏名のほか、ペンネームやイニシャル希望であればそちらもご記入ください。

「読者の声」あて先

〒038-0058 青森市大字羽白字富田190番地4
JA青森 総務人事課 行 FAXの場合 017-788-0281

Facebookやホームページでは、JA青森の最新情報が入手可能です。
右のQRコードを読み込むだけですので、是非お試しください!
Facebookのフォローや「いいね!」もお待ちしています♪



JA
青森
ホームページ

